

あやべっ子見守り隊通信

平成 24年12月14日 第66号

綾中応援団「絆」 あやべっ子見守り隊事務局 片山祥司

Fax&Tel : 42-0067 Mail : yama-sho@alpha.ocn.ne.jp

11月22日
市教委学校指導チームの上林小学校訪問に同行。

先月より続いている今年の学校訪問も終わりに近づき、11月22日には上林小学校を訪問した。児童数は全校40名、各学年1クラスと小人数であるが、人数をカバーするくらいに教室は作品などの掲示物であふれている。西行や信綱の歌、虚子の句、24節季、一日、九日、霜月ついたちの表示、論語このかや鳥獣戯画。それに落ち葉、団栗、草花など季節感と古典で満ち満ちている。

勿論、全ての教室は規律正しく、落ち着いた丁寧な雰囲気満ちているが、特に感心したのは6年生の『上林の歴史探訪』という総合の授業であった。綾部史談会の川端二三三郎先生の指導の下、上林に関連した戦国の大名配置、奥中上林の山城の位置を調べた上で、実際に上林城と日置城を実地調査し、山城の構造物の見事な平面図を作成、教室に貼出していた。図を前にして、川端先生やクラスの皆に調べたことを発表。お互いに意見や感想を話している。川端先生の丁寧なコメントもあり、本当に生きた歴史を学んでいるなあと感じる。



8月の中筋公民館の中筋子供ふるさと探検隊に同行させてもらった時にも感じたが、このような知識豊富な校外の方の授業が、実際の学校現場で学べることは児童達にとって、本当に幸せなことであり、故郷の歴史に興味を持ち、誇りを感じる児童が生まれることが期待できる。また、歴史が大好きになり、歴史を一生の友とする学問好きの児童も生まれるかもしれない。

以前この通信でもお伝えしたが、上林中学校で「伝えたいグンゼのこころ」というテーマで綾部の延町で生まれられ、八津合町に養子にいられた郡是の創設者波多野鶴吉翁の、郡是創業の精神について、グンゼの総務部長さんのとても分かり易い講座があったことを思い出した。この時、私自身が、よく知らなかった郡是の歴史を始めて知り、感動し、本当によい講座だと思ったものである。

上林小学校と上林中学校は今、小中一貫教育を目指しているが、上林の歴史や環境、自然を地域の方や、学校外の方とともに実際の現場で体験しながら学ぶ体制はすでに出来上がっており地域の方に見守られながら、落ち着いて、しっかりと、切れ目無く成長して行く環境が整いつつあるのではなかろうか。

古典、歴史に満ちた教室

11月17日
綾部中学校
本年度
第2回オープンキャンパス

11月17日 本年2回目の綾中オープンキャンパスが開かれた。回数を重ねてきたこともあり、内容も、授業参観、食育講演会、小学6年生と大人のための講座、折り紙教室、作品展、バザー、そしてメインの元杉並区立和田中学校、藤原和博校長の講演など盛沢山なものとなった。あいにく大雨で、藤原元校長の講演が、「文字通り、お足元の悪い中をよく…」というジョークで始るほど、駐車場の校庭は海のようにであった。それにも関わらず来場された方は300名を超えたそうで、吉美小学校の見守り隊の方の顔も見え、少しずつではあるが、綾中に関心を抱いていただける方の増加が感じられ勇気付けられる思いである。オープンキャンパスの講座や、幼児を連れたPTAのためのキッズルーム担当など行事を手伝われた応援団”絆”メンバーを始め本当に有難うございました。藤原先生は、荒れて地域でも敬遠されていた和田中学校を地域の人たちや、学校外の人の協力と思い切った学校改革で建て直し、学力も地域トップに育て上げた方で、大阪市の橋下市長のブレーンをされた方である。リクルート社を始め海外でも活躍された才気溢れる方で、その講演は、まことにテンポが速く歯切れの良いもので、東京と綾部のテンポの差を感じ少しショックを受けたものである。

現代のような正解のない社会では、「正解」主義ではなく「納得解」主義、情報「処理」能力から、情報「編集」能力(堅い頭から、柔らかい頭という意味か?)というテーマであったが、この情報編集が本当に必要となるのは、高校、大学、社会人になってからであり、小中学校では基礎的な知識、基礎的な技術を身に付ける情報「処理」能力の獲得が先決と言われたことも印象に残った。

やはり先生対生徒、親対子という「縦の関係」が主となった現代においては、近所の大人と子どもという「斜めの関係」の欠如が最大の問題であり、学校の建て直しには、「斜めの関係」を意識的に強化すること、すなわち地域の方の知恵、能力を借りることが不可欠であるというお話に、応援団”絆”の活動の方向が見え、勇気を与えて頂いた講演であった。



綾中応援団絆
あやべっ子見守り隊

綾中応援団”絆” あやべっ子見守り隊の基本コンセプト

「小学生から中学生への成長を継続して見守ること」

1. まず、この通信が届いたら読んでいただければうれしいです。
2. お家の前や農作業の時、ウォーキングや愛犬の散歩、買い物の時に登下校中の小学生、中学生に出会ったら、「おはよう」「お帰り」と挨拶をしてあげてください。幼稚園、幼児園、保育園児、できれば高校生へもお願いします。
3. 気が向いたら月に2回、綾中付近5ヶ所で実施している定例「声掛け」に参加していただければうれしいです。ご近所の登校路要所での「声掛け」も大歓迎
4. 気が向いたら、オープンスクール、授業参観、体育祭、文化祭、入学式、卒業式など学校行事に参加していただければうれしいです。
子ども達は、自分たちに関心を持って貰っている、見つめられていると感じるだけできっと変わってきます。



12月2日 綾部市民音楽祭にて

次回声掛

次回は1月8日(火) 小・中始業式の日です。

場所 綾中に近接した3~5ヶ所で実施 時間は午前7:30~8:30

初めての方は八幡宮神楽池の上の登校路にお越しください。

以降の声かけ予定:1月18日(金)ふれあいの日、2月5日(火)月初の声掛けの日です。